

科目名	観光人類学						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	文化学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	中野 宏幸						

授業概要／Course outline

テーマ：出会いと交流の歴史から観光の意味を考える

ヒトは旅にでて、未知の他者や異文化と出会い、交流を通じて相互の理解が深まり、新たな文化が創出されていく。ヒトの営みの長い歴史の中では、観光は新しい現象であるが、日々の関わり合いを通じ、人知が蓄積されてきている。

本授業では、観光という事象が、ヒトの営みや都市社会、自然や文化とどのような関わりをもってきたのか、観光を通じた「楽しみ」「共感」「遊び心」などのヒトの気持ちとどう結びついていくのか、人類学を核とした関連する分野の視点からとらえ、観光についての包括的理解力や思考力を養うことを目的とする。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・実務経験のある教員による授業

都市地域や交通に関する行政経験のある教員が、その経験を活かし、観光や地域コミュニティに関わる課題や対応の視点を適宜提供する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 オリエンテーション

第2回 観光の構成要素と基本構造

第3回 観光経験と観光的リアリティ

第4回 観光に向かうヒトの動機・行動原理

第5回 対人関係とコミュニケーションの枠組み

第6回 対話と「共感・間主観性」「遊び心」

第7回 観光と余暇・レジャー

第8回 観光と都市社会、地域づくりとガバナンス

第9回 観光とアイデンティティ、固有の価値の創造

第10回 社会の変化とジェンダー

第11回 多様化・多義化するツーリズムと「楽しみ」の気持ち

第12回 観光とメディア・情報価値の創造

★オンデマンド 観光と環境・サステナビリティに関する動画、資料の配付・解説を行う。

第13回 時代環境の変化とこれからの観光の姿

第14回 総括と期末試験

事前・事後学修／Preparation and assignments

(第1回)

事前学習 本授業に関連文献や報道に目を通しておくこと。授業において学びたいことを考えておくこと。

事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第2回)

事前学習 観光の構成要素と構造、観光のまなざしに関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。

事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第3回)

事前学習 観光経験、観光の真正性と疑似イベントに関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。

事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第4回)

事前学習 観光行動への動機や行動原理、観光行動の類型に関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。

事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第5回)

事前学習 言語・非言語コミュニケーションや対話に関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第6回)

事前学習 対話における共感、遊びと観光に関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第7回)

事前学習 観光と余暇・レジャーに関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第8回)

事前学習 観光と都市・地域づくりとガバナンスに関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第9回)

事前学習 観光と地域のアイデンティティ、文化の商品化に関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第10回)

事前学習 観光とジェンダーに関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第11回)

事前学習 マス・ツーリズムとニュー・ツーリズムに関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連する文献報道などを読んでおくこと。

(第12回)

事前学習 観光とメディア・情報に関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

★オンデマンド

事前学習 観光と環境・サステナビリティに関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第13回)

事前学習 観光を巡る時代環境の変化とこれからの観光に関し、関連文献や関心あるテーマを調べておくこと。
事後学習 配布資料や講義ノートを復習して理解を深め、関連文献や報道などを読んでおくこと。

(第14回)

事前学習 第1回から第14回までの授業での配布資料や学んだことを復習しておくこと。
事後学習 授業を通して学んだことを復習し、関心あるテーマについて理解を深めておくこと。

※目安の学習時間は、事前学習は2時間、事後学習は2時間です。

授業前にmoodleに授業資料を掲載します。moodleにアクセスし、事前に資料をよく読むとともに、関連文献や関心あるテーマを調べておいてください。事後には、よく復習をして理解を深めてください。

授業の到達目標／Expected outcome

観光人類学における基礎的な概念や視点・考え方を理解すること。観光に係わる主体、観光の基本構造や社会との関わり合いに関する基本的な知識を習得すること。これらを通じ、多様化する観光事象に関する理解を深めることができるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・ 思考力 専門知識・専門技能
- ・ 幅広い教養 【文化学部 京都文化学科】
 - ・ 文化の資源化への理解

履修上の注意／Special notes, cautions

授業内容や形態・方法は、状況によって変更となることがある。

観光を巡る状況は変化しているので、自ら考え、学ぶ気持ちをもちながら、主体的・能動的な姿勢で、学習と授

業にのぞんでほしい。

質問等がある場合は、授業内及び授業後の時間のほか、教員のオフィスアワーを活用してほしい。

評価方法／Evaluation

期末試験（60%）、平常点（授業内での小レポートと授業への積極的な参加）（40%）を総合的に評価する。

教 材／Text and materials

教科書は指定しない。

参考書は以下の通りである。

山下晋二編『観光文化学』（新曜社、2020）

山下晋二編『観光人類学』（新曜社、1995）

ヴァレン・L・スミス編『ホスト・アンド・ゲスト 観光人類学とは何か』（ミネルヴァ書房、2020）

ジョン・アーリ、ヨナス・ラーセン『観光のまなざし』（叢書・ユニベルシタス1014、法政大学出版局、2011）

質問や相談の方法／Instructor contact

研究室：第3研究室棟 27研究室

オフィスアワー：水曜日（15：15－16：45）

連絡先：Moodleに記載のアドレス